

京都市立春日丘中学校 学校沿革史

昭和61年 4月 1日	京都市立醍醐中学校南分校として醍醐中学校内に開設
昭和61年 9月 1日	現所在地に京都市立醍醐中学校南分校として、1・2年生学習開始
昭和62年 4月 1日	京都市立春日丘中学校開校 寺川 寛 初代校長就任
昭和62年 8月31日	部活動倉庫完成
昭和63年 4月 1日	前川近平 二代校長就任
昭和63年10月30日	第43回国民体育大会（京都国体マスゲーム「京の美」演技出演）
昭和63年11月30日	文部省、京都市教育委員会指定 同和教育研究中間報告会
平成 元年 2月 2日	記念像「希望の像」寄贈（開校準備委員会より）
平成 元年10月31日	文部省・京都市教育委員会指定 同和教育研究二年次報告会
平成 3年 3月29日	コンピュータールーム設置
平成 3年 4月 1日	古川孝昭 三代校長就任
平成 6年 9月12日	平安建都1200年記念「花壇コンクール」出展
平成 7年 4月 1日	木村 規 四代校長就任
平成 9年 3月 1日	創立10周年記念式典
平成10年 2月16日	フロンティアスクール（道徳領域）研究報告会
平成10年11月21日	文部省・京都市教育委員会指定 「生徒指導研究中間報告会およびフロンティアスクール（道徳領域）」 研究報告会
平成11年11月20日	文部省・京都市教育委員会指定 「生徒指導研究報告会およびフロンティアスクール（道徳領域）」 研究報告会
平成12年11月21日	京都市教育委員会指定フロンティアスクール（道徳領域）研究報告会
平成14年 3月 1日	21世紀学校づくり推進事業 1年次紙上報告
平成14年 4月 1日	廣瀬忠愛 五代校長就任
平成15年 3月 1日	21世紀学校づくり推進事業 2年次紙上報告
平成15年11月12日	21世紀学校づくり推進事業 3年次報告会
平成16年11月20日	みやこ学校創生事業～小中連携（道徳教育）～ 報告会
平成18年 1月10日	みやこ学校創生事業～総合育成支援教育（特別支援教育）～ 報告会
平成18年11月18日	創立20周年記念式典
平成19年 2月 6日	みやこ学校創生事業～総合育成支援教育（特別支援教育）～ 報告会
平成19年 4月 1日	細辻吉弘 六代校長就任
平成19年 7月31日	地域教育フォーラムイン京都 報告（総合育成支援教育）
平成20年 2月22日	心に響く道徳教育推進事業 報告会
平成20年10月30日	全日本特別支援教育研究連盟全国大会 京都市大会 公開授業・分科会
平成23年 4月 1日	加藤正人 七代校長就任
平成24年 1月18日	自主公開授業研究会開催 （『学び合える授業形態の成立～「学びの共同体」を目指して～』）
平成24年 4月 1日	文科省「人権教育研究」指定
平成25年 1月18日	公開授業研究会開催（『一人一人の学びを保障する 「協同的な学び」の確立と子ども同士の豊かなつながり（絆）を求めて』）
平成25年 4月 1日	柴本三紀夫 八代校長就任

平成25年	4月	1日	文科省「人権教育研究」指定
平成26年	4月	1日	国立教育政策研究所「魅力ある学校づくり調査研究事業」指定1年目指定
平成27年	4月	1日	国立教育政策研究所「魅力ある学校づくり調査研究事業」2年目指定
平成28年	4月	1日	坪井 聡 九代校長就任
平成28年11月	26日		創立30周年記念式典
平成29年	4月	1日	国立教育政策研究所「中学校・特別活動研究」1年目指定 (研究テーマ 「温かな心を持ちながら、地域に貢献できる生徒を育てる特別活動」)
平成30年	2月	9日	国立教育政策研究所「中学校・特別活動研究」1年目中間発表(東京)
平成30年	4月	1日	国立教育政策研究所「中学校・特別活動研究」2年目指定 (研究テーマ 「あたたかな心を持ちながら、地域に貢献できる生徒を育てる特別活動」)
平成31年	1月	28日	国立教育政策研究所「中学校・特別活動研究」公開授業、研究発表会開催
平成31年	2月	5日	国立教育政策研究所「中学校・特別活動研究」2年目本発表(東京)
令和 2年	1月	31日	京都市教育委員会指定 豊かな学びリーディングスクール キャリア教育研究発表：テーマ「なりたい自分になるために」
令和 2年	4月	1日	山崎良一 十代校長就任
令和 2年	4月	1日	京都市教育委員会指定 小中一貫学力向上実践推進校
令和 3年	4月	1日	京都市教育委員会指定 小中一貫学力向上実践推進校
令和 4年	4月	1日	京都市教育委員会指定 小中一貫学力向上実践推進校
令和 4年11月	1日		令和4年度 第74回 教育功労者表彰 受賞 受賞理由：「すべての子どもの学習機会の保障」の実現に向け、地域や関係機関と密に連携した生徒指導を進めるとともに、生徒一人ひとりに寄り添った支援を積み重ねることで問題行動の減少につなげるなど、本市中学校教育の進展に貢献した。